

# やまが Yamaga City council News

## 市議会だより

第50号  
12月定例会

令和8年2月1日  
発行／山鹿市議会

### 12月定例会



### 議場音響・映像システムを 更新しました。

高精細カメラと新しいマイクで、議会をより身近に、より分かりやすくお伝えします。

65型4Kモニターを議場内に3台、傍聴席にも2台設置。ライブ配信にも対応。

画面には発言された言葉がテロップで表示され、音声とあわせて内容を確認できます。

### 《もくじ》

予算決算委員会報告	2
委員会レポート	3～4
質疑・一般質問	5～11
議決結果	12
議員のよこがお	13
傍聴感想、議会の動き、編集後記	14

# 予算決算委員会報告

## 建設経済分科会

### 有害鳥獣電気防護柵の

#### 効果・促進は

問 今回予定以上の申込みだが、設置効果はあるか。設置後の検査、補助金の上限はどうか。

答 効果を発揮している。例年350件ほどの予算化だが、すでに215件執行済み、新たに243件追加要望があり予算要求している。補助は、購入額の2分の1、上限10万円。平成17年から事業が始まり、かなりのエリアで設置済みだが、今後、補助制度の交付額、設置要件の検証をしていきたい。

問 鳥獣被害防止の為、効果的な設置法等の周知も実施してほしい。限度額は、年度で1人当たりの額か。2年目にまた購入すると補助が受けられるのか。

答 現状は一年で1回の申請で、上限10万円の交付を行っている。見直す時期もあり、要綱を今後検討していきたい。

問 職員の箱わな免許取得者が増える活動もできるのでは、今後どう考えてるのか。

答 現在農業振興課職員で、箱わな免許で1人。限られた職員数で日頃の業務と合わせて狩猟免許取得は可能でも、活動は厳しいと思われるが、指摘があったことを、課内職員に話したい。

## 市民福祉分科会

### 障がい者福祉費事業

問 障がい者福祉費の補正予算の内容と増額となった理由は

答 自立支援介護訓練等給付はグループホームや就労継続支援A・B型事業所分。障がい児通所等給付費は児童発達支援・放課後等デイサービスが対象で、利用延べ人数が267人増加し約4,800万円増。事業所は4月に計3か所開設。自立支援医療費給付410万円は、障がい部位の除去、または軽減を目的とした手術に係る医療費を支援するもの。地域生活支援事業86万円は、障がい者の相談支援事業、日中一時支援事業等がある。補正額は決算見込みとの差額で算出し、財源は国2分の1、県・市各4分の1である。



## 総務文教分科会

### 学校・幼稚園への

#### 冷水器の設置について

問 冷水器の設置基準があるのか、1台の金額、全体の数について伺う。

答 冷水器に関する国及び県の基準はない。設置台数は山鹿小学校と山鹿中学校は各2台、他の小中学校と幼稚園は各1台設置で、小学校9台、中学校6台、幼稚園1台、設置費用は工事費込みで1台当たり約64万円。

### 大会終了後における 補正予算について

問 スポーツ振興補助金330万円、大会終了後の補正に至った理由は

答 全体スケジュールが遅れた結果、寄附受入の申出が議会開会に間に合わず、今回の議会提出となった非常にイレギュラーなケースであり、今後は改善に努める。

## 予算決算委員会からの意見・要望

山鹿灯籠ウィメンズマラソン大会に係る企業版ふるさと納税の寄附金を財源とした、スポーツ振興補助金330万円について

「すでに終了した大会に後から予算をつけて交付することは問題」「予算は事業の実施前に議決されるのが原則」との厳しい指摘により、執行部は異例の対応に反省すべき点があったと認めた。

大会はにぎわい創出に大きな効果をもたらし、使途を指定して寄附を行った企業の厚意をふまえれば、可決することとはやむを得ないとの意見が出た。採決後の委員間討議にて、今後執行部に対し、事業の実施や団体への支援については、事前議決が原則である。今後疑念を招くことのないよう、予算の計上及び執行に十分留意するよう、意見を付した。



12/8  
開催

## 建設経済委員会レポート

◎金光 一誠 ○古川 和博 服部 香代  
芋生よしや 高橋 龍一 北原 和智

### 下水道使用料の改定どうしても今必要か

問 物価高騰下、値上げしないで済む検討はしたのか。

答 下水道審議会で検討し、会計の統一、業務委託もやってきたが、集落排水事業が来年度から赤字が見込まれた為、今回改定となった。

問 14市で最も高い料金になる、地方公営企業法第17条の3を使い一般会計からの繰り入れで、値上げを抑えることはできないか。

答 国から通達もなく活用は難しい。

問 市民に説明できることが重要。今回の改定でいくら増額になるのか。

答 年間1億1,000万円の増収。

問 今回の値上げで、老朽管更新・耐震工事ができていくのか。

答 国の補助事業半分、起債事業半分の工事費用となり、使用料は今改定額で足りる。

#### 現地調査



鹿央町仁王堂

#### 【その他 主な審査事項】

- 矢谷溪谷キャンプ場条例の一部改正
- 農業集落排水処理施設条例の一部改正
- 公の指定管理者の指定（一本松農村公園）

12/9  
開催

## 市民福祉委員会レポート

◎隈部 賢治 ○山下 誠治 小川 榮二  
豊田新二郎 小林 文江 高松 佳美

### 「誰でも通園制度」の実施に向けた整備について

国の制度改正に伴い、生後6ヶ月から満3歳未満で保育所などに通っていない子どもを育てている家庭が、就労要件を問わず、月10時間を超えて柔軟に利用できる事業。

令和8年度から本格実施されることを受け、乳児等通園支援事業の設備及び運営基準を定める。この他に、乳幼児健診を保育所健診の一部とみなすことができる規定を追加し、家庭的保育事業等に関する条例の全部を改正する。今後、市内の保育事業の現状、保育者の資格や配置基準、運営方法、利用料等について確認し、制度整備と円滑な運営が求められる。



#### 現地調査



藤井地区児童遊園

#### 【その他 主な審査事項】

- 山鹿市税条例の一部改正
- 山鹿市病院事業会計補正予算（第1号）
- 訴えの提起について（藤井地区児童遊園）

12/10  
開催

# 総務文教委員会レポート

◎松見 真一 ○原 芳郎 永田 紘二 勢田 昭一  
永田 壮弘 古家 茂臣 工藤彩友美

## 山鹿市火災予防条例の一部改正内容

本議案は、令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受け、同様の災害による被害拡大を防ぐことを目的に、火災予防条例の一部を改正するもの。

改正では、気象条件に応じて「林野火災注意報」及び「林野火災警報」を発令し、屋外での火の使用制限を行う規定を新たに設ける。

### 主な改正点

・林野火災注意報の発令要件

①過去30日間の降水量が30mm以下、かつ直近3日間の降水量が1mm以下

②直近3日間の降水量が1mm以下、かつ乾燥注意報が発令され、相対湿度が30%以下

いずれかに該当する場合、火の使用制限は努力義務とする

・林野火災警報の発令要件

右記①または②に強風注意報の発令が加わった場合に発令。この場合、火の使用制限には義務を課す

・対象区域と行為

国有林及び民有林を対象とし、火災予防条例第40条第1号から第6号に該当する屋外での火の使用行為を制限

・発令方法

防災無線及びやまがメイト

施行日は令和8年1月1日とされ、総務文教委員会において原案どおり可決すべきものと決定した。

鹿本体育館における空調設備設置工事

(議案第79号工事請負契約の締結について)

### 【その他 主な審査事項】

- 山鹿市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 基本構想の策定について
- 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更

### 現地調査



鹿本体育館

## 一般質問



市議会だよりでは、紙面の都合上、1人1問の質問と答弁を要約して掲載しています。

## ◆市政めここが聞きたい◆

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

12月定例会の一般質問は、12月2日、3日の両日にわたり、14名の議員が行いました。

※二次元コードからYouTubeでの録画配信をご覧ください。

質問議員	質問趣旨	掲載	質問議員	質問趣旨	掲載
豊田新二郎	持続可能な今後の下水道事業の運営は	P5	松見 真一	国道325号の道路改良事業について	P 8
高松 佳美	「5歳児」健康診査支援事業の本市の取り組みは	P5	原 芳郎	今からの教育環境をどう考えていくのか	P 9
芋生よしや	枯渇・汚染防止浸透域確保を条件に	P6	金光 一誠	地域計画(目標地図)の見直し	P 9
工藤彩友美	本市の宿泊業支援の在り方は	P6	山下 誠治	市道中御宇田線の時間での重量制限が可能か	P10
古川 和博	八千代座を核とした賑わいづくりには	P7	永田 壮弘	不祥事に対する全職員への行動制限は妥当か	P10
古家 茂臣	市長の社会福祉協議会会長兼務の理由は	P7	勢田 昭一	市職員の「働きやすい職場環境」のための行動は	P11
小林 文江	中学校「共通標準服」導入の進捗は	P8	永田 紘二	山鹿市の人権教育について	P11





## 問 持続可能な今後の下水道事業の運営は

答 安定した下水道運営へ料金適正化を図っていく

とよだ しんじろう  
豊田 新二郎 議員



問 ①料金改定と維持費の見直しはどうか  
②将来を見据えた下水道事業の対策について伺う

答 建設部長

①物価上昇により燃料費や資材費、人件費などの維持管理費が高騰し、下水道事業でも負担が増している。経費回収率は下水道事業会計で91・5%、農業集落排水事業会計で88・3%となり、このままでは事業継続に支障が生じる可能性がある。今回の料金改定では回収率が100%となるよう

見直し、今後も経営状況を踏まえ概ね5年ごとに収支計画を検証していく。

②人口減少により使用料収入の減少が見込まれる一方、施設老朽化で経費が増加し、下水道事業を取り巻く環境は厳しくなる。将来を見据え、ストックマネジメント計画に基づき老朽施設を優先的に更新していくほか、農業集落排水施設は処理場を20か所から12ヶ所へ統合し、維持管理費を抑制していく。これらの取組を進め、将来世代への負担軽減と持続可能な運営を図っていく。

### その他の質問

- ・小中学生の不登校の現状と子どものSNSトラブル・ネット依存について
- ・企業版ふるさと納税について



## 問 「5歳児」健康診査支援事業の本市の取組は

答 関係機関と協議。他市の取組状況も参考に研究していく

たかまつ よしみ  
高松 佳美 議員  
(公明党)



問 切れ目のない健康診査の実施、安心して就学できる環境を整えるための5歳児健康診導入を検討できないか

答 福祉部長

5歳の時期は社会性が高まる時期で、体の成長だけでなく社会性や行動面の発達状況の把握により発達障害を発見しやすい時期とされ、国も推奨している健康診査であるが、県内14市のうち実施しているのは上天草市の1市。本市は小児科医や発達障害の専門医、公認理士等の専門職種の確保ができず実施で

きていないが、専門医師や公認理士等による発達相談を年30回、3歳児健康診査時に心理職による発達相談を年18回実施し、経過観察が必要な場合は保健師が成長発達の確認を行い支援に繋いでいる。5歳児健康診査の実施には専門職の確保が重要であり、国の提唱する4つの方法や4ヶ月児、8ヶ月児の振り替え、実施の時期、会場の確保等について関係機関と協議し、他市の取組状況も参考に研究していきたいと考えている。

### その他の質問

- ・子育てと就業の両立支援を目的とした、病児病後児保育の取り組みについて
- ・投票率向上と環境整備について

## 問 枯渇・汚染防止浸透域確保を条件に

## 答 立地協定の際水質汚濁防止法等明確化

いもう  
芋生 よしや 議員  
(日本共産党)



① 開発基準での緩衝帯  
② 水道局長 ③ 市民部長  
④ 市長

① 工業団地整備には、地下水保全が重要。水の枯渇、水と大気汚染が起きぬようにすること、浸透域を確保することを進出企業に対して条件とすべき

② 水道事業者等に対して、有機フッ素化合物に関する水質検査の実施及び基準を遵守する義務が新たに課されるが検査回数は変わるのか

③ 結果公表は数値も示せるのか

④ 新たな半導体企業等の進出に対して、県の地下水保全条例のさらなる厳格化を市として求めている

### その他の質問

- ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について
- ・長射程ミサイル配備問題について
- ・小中学校給食費について

や緑地帯の整備。雨水が浸透しやすい透水性工法など、地下水涵養に配慮した計画で進める。企業誘致には、水文調査を受け揚水量、水質汚濁防止法の規制により責任を明確化し、地域に迷惑が掛からぬよう対応する。

② 改正省令に従い3ヶ月に一回の水質検査を行う。

③ 上水道及び区域外の検査数値公表は検討する。

④ 地下水保全は、豊かな自然環境、安全安心な市民生活を守るうえでも重要。国の基準値で調査を進めるべきで、国・県に言うことはない。

## 問 本市の宿泊業支援の在り方は

## 答 外国人客向け受入整備と誘客支援

くどう  
工藤 彩友美 議員



① 過去3年間の宿泊者及び宿泊施設数の状況は

② 宿泊事業者の課題について本市はどこまで深刻に受け止めているのか

③ 厳しい現状を踏まえ、た上で宿泊事業者への支援は

④ 過去3年間の宿泊者数は、令和4年度が約23・2万人、5年度が約21・1万人、6年度は約19・5万人で、コロナ前の令和元年度（約32・2万人）には回復していない。宿泊施設は令和元年度の42施設から、現在は38施設に減少。4施設が廃業または休業している。

② 観光協会などを通じて課題把握に努めている中で、宿泊事業者が抱える課題として、人手不足と施設の老朽化が深刻。老朽化した設備の改修には多額の費用がかかり、事業所単独での対応が難しい状況も多い。こうした状況により、事業継続に不安を抱える声もあり、観光地としての大きな課題となっている。

### その他の質問

- ・防犯対策における警察との連携と小中学校の防犯教育について



③ 宿泊者数の回復に向けて、観光関係団体と連携し、誘客や魅力発信、観光プロモーションなどを進めている。特に外国人観光客の受け入れ環境整備として、令和6年度から3年間、「インバウンド受入環境整備促進事業補助金」を実施。宿泊施設のほか、飲食店や土産品店も対象に、多言語表示、トイレの洋式化、客室の洋室化などを支援している。昨年度は16件、総額約1,275万円の補助を実施した。





## 問 八千代座を核とした賑わいづくりには

答 八千代座を中心に観光振興を推し進めていく

ふるかわ かずひろ  
古川 和博 議員  
(清風やまが)



### その他の質問

- 下水道料金について
- メディカルネットワークについて

問 ①施設運営の現状と課題はなにか  
②要望書についての認識と対応は  
③まちなみ再生事業による誘客効果は  
④市内観光資源との一体的なプロモーション策を問う

答 ①②教育部長 ③建設部長 ④商工観光部長  
令和6年度の見学者数は約4万2千人、イベント延べ86日開催。施設面での保全及び防災設備の更新が必要である。

②2, 227名(市内1, 385名)の署名による予約開始時期の見直し要望であり、八千代座を利用された市民団体等及び八千代座審議会に諮り方針を決定する。  
③沿線の空洞化を防ぎ街並み景観の連続性を維持している。令和6年入込客数は約8万7千人を記録した。  
④八千代座と観光資源の連帯を通じ観光客に喜ばれるような仕組みづくりを目指す。



## 問 市長の社会福祉協議会会長兼務の理由は

答 多くの市民が会員で、地域福祉推進の重要な団体だから

ふるいえ しげおみ  
古家 茂臣 議員



### その他の質問

- 市と外郭団体の関わりについて

問 社会福祉協議会の会長については河村市長時代に同会の自立、独立性確保のため、市長の会長兼務をやめ民間の会長になっている。中嶋市長時代も引き続き市長の会長兼務はなかった。しかし、これまでのこの方針を変えて何故、早田市長から会長兼務となったのか、その理由を尋ねる

答 福祉部長  
社会福祉協議会は地域住民、福祉関係者等

が参加する非営利の民間団体で、地域福祉を推進する中心的な役割を担う、今後の地域共生社会実現に向けて重要な団体である。  
また、本市の約70%を超える世帯が会員となっており、その声を運営に反映することが望まれること、また、県内14市の7割程度で市長が会長を務めていることなどを踏まえ、市長と福祉部長を役員候補として推薦し、その後理事会で選出されたもの。

## 問 中学校「共通標準服」導入の進捗は

答 令和9年度を目標に体制を整える

こばやし ふみえ  
小林 文江 議員



**答** 首席教育審議員  
① 校長会を中心に検討委員会を設置し、現行制服と併せて着用ができるよう協議中である。制服は必ず着用すべき

**問** ①部活動地域移行の節目に合わせ、制服も共通標準服へ切り替えはどうか。制服と標準服の違い、導入協議の状況を問う  
②多様性に対応できる男女共通デザインを検討すべきではないか  
③価格抑制やリユース推進による負担軽減の方向性を問う  
④導入過程における任意性、併用期間、説明体制、販売店選定の透明性を問う

ものに対し、標準服は制服に代えて着用可能なものである。  
②男女共通のブレザー型を基本とし、スカート・スラックスを自由に選択可能とする。伸縮性素材や反射材を用い、快適性と安全性を考慮している。  
③価格は従来制服と大差ないが、男女共通仕様により譲渡や転校時の継続着用が可能となり、負担軽減につながる。  
④購入は任意で、従来制服との併用期間を設ける。見本展示や周知を行い、販売店選定や価格設定に透明性を確保し理解促進を図る。

### その他の質問

- 農業と福祉をつなぐ「農福連携」の推進について

## 問 国道325号の道路改良事業について

答 来民交差点周辺は鋭意用地取得が進められている

まつみ しんいち  
松見 真一 議員  
(清風やまが)



**問** ①事業の進捗状況はどうか  
②事業に対する今後の市のかかわり方を尋ねる  
**答** 建設部長  
国道325号道路改良事業は、県の新広域道路交通計画に基づき、物流の活性化、交通拠点へのアクセス向上、災害時の代替ルート確保、生活利便性向上を目的として進められている。令和元年度以降、説明会、現地測量、交通管理者との協議が行われ、来民地区周辺では菊池市側から用地取得が進行している。また、説明会で出された地域の意見を踏まえた

改善計画の説明の準備も進められている。今後、市は地域住民の意見を丁寧把握し、県へ改善や調整を働きかける方針である。あわせて、バイパス整備後の安全確保に向け、市道などの生活道路の整備や安全対策を検討し、県と連携して早期実現に取り組む。さらに、用地取得交渉が難航した場合や市に対する要望が出た際には、市と県が協力して解決に努めるとともに、地域発展に資する重要な事業と位置付け、全力で推進していく。

### その他の質問

- マイナ保険証について
- リチウムイオン乾電池等の回収及び火災予防対策について





## 問 今からの教育環境をどう考えていくのか

答 様々な仕組みづくり・施策を協議していく

はら よしろう  
原 芳郎 議員



過去の議会でも質問

令和4年12月



### その他の質問

- 山鹿市の活性化（人工芝グラウンド）について
- 農業施策について
- ふるさと納税について

問 ①中学校部活動地域移行の現在の取り組み状況と今後の展開は  
②生徒たちの活動機会及び、保護者の経済的・労力的負担軽減の考え方は  
③各種大会への補助状況及び、奨励金のあり方は  
④スクールバスの運行台数・利用児童生徒数及び、要望対応状況は

答 ①②③教育部長  
④首席教育審議員  
①各種目「1市1クラブ」とする基本方針。現在、野球部をモデルに令和9年度には吹奏楽部、文科系を含むすべての部活動で休日の地域移行を目指す。②山鹿市Jr. BUK A T S Uへの体制づくりと移行を進め、経済的及び、送迎等で保護者負担に偏りが生じないような施策・仕組み作りが必要と考える。③令和7年度11月末現在、総数65名、59万円を交付。今後、遠征費補助金及び奨励金のあり方を協議していく。④市内小中学校合計で、24台、526人が利用。要望対応については、学校・保護者・教育委員会が十分な協議・検討を行い判断している。



## 問 地域計画(目標地図)の見直し

答 より良い計画・地図の実現を推進

かなみつ いっせい  
金光 一誠 議員



問 農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」が「地域計画」に名称が変わり、本市においても、令和6年に目標地図を含む地域計画が全農地を対象に10の地域に分け作成されている。今後、地域における農業の将来について、農業者・行政を含む関係機関などが話し合い、未来をまとめる計画とするためには、農地の集約や多様な経営体の確保等、誰がどのように農地を使って農業を進めて行くのか地域農業の将来図（目標地図）の見直しが必要と考える。

答 農林部長  
地域での協議の進め方として、農業委員及び農地利用最適化推進委員が中心となり、熊本県、農協、中間管理機構、山鹿市等の関係機関がサポートを行い、地域の担い手や地権者等と呼びかけて、前年度策定した地域計画についての説明や目標地図を基に協議を行うもので、本年度から農業委員会での6つの班編成をしている農地利用最適化実践チームで、農地のまとまりや水利状況などで区域を定め、協議を始めている。来年度以降も引き続き、将来に向けたより良い地域計画・目標地図となるよう、話し合いを行い、更新を進めながら目標地図の実現に向けて、農地の集約・集約を推進していく。

### その他の質問

- 廃校の利活用について
- 第3次総合計画（基本構想）について

## 問 中御宇田線の時間での重量制限が可能か

答 現時点では難しいが子ども達の安全確保に注視していく

やました 山下 せいじ 誠治 議員



### その他の質問

- 鹿本小学校が国道325号線につながる区間のスクールゾーン設定などは可能か

**答**建設部長  
①市道中御宇田線の当該区間は昭和50年代前半に整備された道路をその後町道認定。合併後は市道として引き継いだ路線であり、主要

**問**①国道325線のう回路としてヤマダ電機前から中御宇田線に入り鹿本小学校の正門前を通過する大型車が多く渋滞が日常化している。徒歩通学の児童たちの安全確保のためにも時間制限を設けた重量制限は可能か  
**問**②重点支援地方交付金についてどのような支援策をお考えか

**答**総務部長  
な幹線道路として車道幅員約8メートル、歩道約3・5メートルに整備。法律で定められた道路構造令の基準を満たす道路となり、公安委員会と協議のうえ、重量制限が解除されている。このような経緯から重量制限を設けるのは難しいと考えているが、将来を担う子どもたちの安全を確保する点に留意しながら、状況を注視していく。

## 問 不祥事に対する全職員への行動制限は妥当か

答 職員意識改革のため目安を示し対応

ながた 永田 たけひろ 壮弘 議員



### その他の質問

- ふるさと応援寄附金の活用について
- 山鹿灯籠まつり千人灯籠踊り手の確保について

**問**今回の質問は、個人の過ちを追及するのではなく、行政判断や職員の尊厳と安全を守る体制が機能していたかを検証のために行う。特に、市長が処分前に全職員へ「22時以降の飲酒禁止」を指示した点は、多くの職員の私生活に影響を与え、地元飲食店組合から撤回要望が出るなど、市民生活にも広く影響を及ぼした。

**答**市長  
①今回の酒気帯び運転事案を市民の信頼を損なう重大な事態として受け止め、組織全体の意識改革が必要と判断した。そのため、「年内は原則22時までの飲酒」などの目安を示し、行動制限ではなく、組織風土を改めるための呼びかけだった。  
②警察署協力のもと交通法規研修を実施し、組織として再発防止意識が確認できたため前倒しで終了した。今後、酒気帯び撲滅と市民の信頼回復に努める。





**問 市職員の「働きやすい職場環境」のための行動は**

**答** フレックスタイム制を導入する(令和8年1月から実施)



- ・「酒どころ」で交流人口の増加について  
＜創り出す視点＞
- ・日本一の学園都市「やまが」について  
＜つなぐ視点＞

**問** 今年の流行語大賞に「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」が輝いたが、今は「働き方改革」の時代である。そこで、市民サービスの向上とワークライフバランスの両立のため、市役所で働く皆さんの「働き方と職場環境」の改善策を問う

**答** 総務部長

本市では、誰もが働きやすい職場環境を目指し、ノー残業デーや通年軽装、子育て中の

職員や介護を担う職員への休暇制度などを充実させてきた。令和6年9月からフレックスタイム制度を試行し、令和7年4月から対象者や利用条件の範囲を拡大し、皆が利用しやすい制度になるように改善を重ねてきた。

この制度の正式導入は、県内では熊本市に次いで2番目である。今後も、誰もが働きやすい職場環境を目指して改善を進める。



## 問 山鹿市の人権教育について

**答** 市民・学校共にしっかりと啓発



**問**以前は、人権同和教育として、啓発されていたが、現在では、人権教育として啓発されている。部落差別等の発言は発生していないのか疑問もあるが、先日、熊日掲載の全日本全国中学生人権作文コンテスト県大会で、山鹿中学校3年生が最優秀賞を獲得された。

あらゆる差別をなく  
するため「間違ってい  
うこと間違っている」  
と言える勇氣と、相手  
の気持ちを考えて行動  
できる優しさを持つて  
いたいですと示してい  
る

①人権教育には、人権擁護委員と地域人権指導員が携わっていると思うが、それぞれの役割について伺う

②小中学校における人権教育の取組状況について尋ねる

答 ①総務部長 ②首席  
教育審議員

①人権擁護委員は、人権尊重の理念を広く国民に浸透させることを

目的として、市が議会の同意を得て推薦を行い、法務大臣より委嘱を受けた方々で、法務局職員とともに人権相談や救済のための活動に取り組んでいる。

地域人権教育指導員は、本市における様々な人権課題の解決を目指すし、すべての人々の基本的人権が尊重される社会の実現に資する教育の一層の充実と深化を図るために配置しているものである。

②各学校で人権学習年間指導計画を作成し、系統的・計画的に、人権尊重の意識を高め、自他の人権を大切に実践行動のできる児童生徒の育成を図っている。

## その他の質問

- 山鹿市民医療センターの経営状況、山鹿市の病院経営に対する考えは

# 令和7年(第5回)12月定例議会における審議結果表

## 全会一致で原案可決等された議案

案 例	山鹿市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	管理者 指 定	公の施設管理者の指定について(山鹿市一本松農村公園)
	山鹿市税条例の一部を改正する条例		公の施設管理者の指定について(山鹿市矢谷溪谷キャンプ場(矢谷溪谷))
	山鹿市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		公の施設管理者の指定について(山鹿市矢谷溪谷キャンプ場(奥矢谷溪谷きらり))
	山鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	議案	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
	山鹿市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	追加提出議案	
	山鹿市水道事業給水条例の一部を改正する条例	議員提 出議案	基本構想の策定についてに対する附帯決議
	山鹿市火災予防条例の一部を改正する条例		山鹿市議会会議規則の一部を改正する規則
補 正 予 算	令和7年度山鹿市一般会計補正予算(第3号)	条例	山鹿市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
	令和7年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	補 正 予 算	令和7年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度山鹿市工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)		令和7年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度山鹿市水道事業会計補正予算(第1号)		令和7年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	令和7年度山鹿市病院事業会計補正予算(第1号)		令和7年度山鹿市工業団地整備事業特別会計補正予算(第3号)
	令和7年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)		令和7年度山鹿市水道事業会計補正予算(第2号)
	令和7年度山鹿市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)		令和7年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号)
議 案	工事請負契約の締結について(鹿本体育館空調設備設置工事)	意見書	令和7年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第2号)
	訴えの提起について(藤井地区児童遊園)		令和7年度山鹿市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)
	基本構想の策定について		難聴者の補聴器に対する国の公的支援制度創設を求める意見書

## 賛否が分かれた議案

議長は採決に加わりません  
○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議員氏名	工藤彩友美	北原和智	高松佳美	小林文江	古家茂臣	永田壮弘	原芳郎	隈部賢治	高橋龍一	豊田新二郎	山下誠治	古川和博	金光一誠	松見真一	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	服部香代	永田紘二
件 名																				
山鹿市乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
山鹿市矢谷溪谷キャンプ場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
山鹿市下水道事業条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
山鹿市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
令和7年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
令和7年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
令和7年度山鹿市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○

### 芋生 よしや

#### ●乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

「こども誰でも通園制度」は子どもに負担を負わせるもの。すべての子どもの育ちを応援する為に、保育士の配置基準を抜本的に改善し、専用の保育室を確保し、親の就労にかかわらず公が責任を持つ保育施設に入れる体制を作るべき。

#### ●矢谷溪谷キャンプ場条例の一部を改正する条例

入場料を中学生以上は600円、小学生は400円とするもの。物価高の中での値上げは抑えて、市内、県外からの利用者を増やすべきと考え反対。

#### ●下水道事業条例の一部を改正する条例 ●農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

下水道使用料体系の統一を行い使用水量区分の多くで、14市で最も高くなる。独立採算、処理費用は受益者負担が原則だが、市民生活維持には不可欠なもの。地方公営企業法第17条の3の解釈を広げるなど、物価高騰の中、市民生活基盤を守るため値上げ抑制を図るべき。

#### ●国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) ●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

いずれも「子ども・子育て支援法」改正で、国民健康保険・後期高齢者医療保険制度加入者に、新たな上乗せ負担が発生するもの。負担増額の比率が高く、逆進性が強まる。高齢者への負担増は、親を支える子ども世代の負担に直結するうえ、若者・現役世代の将来不安を広げる。少子化という課題なら、抜本的支援のため大企業・富裕層に応分の負担を求めることも不可欠と考えシステム改修費支出に反対。

#### ●議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

#### ●一般会計補正予算(第4号)

人事院勧告は、国家公務員一般職の職員が対象であり、市長や議員には適用されない。コロナ禍に続き、3年以上続く物価高騰で厳しい暮らしが続いている市民への支援こそ打ち出すべき。値上げ分が計上されている補正予算にも併せて反対する。

反  
対  
討  
論



# 議員のよ二顔

趣味やマイブームを聞きました。

意外な一面も？

工藤 彩友美 くどう あゆみ



2匹の保護猫との戯れが至福の時間です。

北原 和智 さたはら かずとも



フェノ-彫刻を始め20年、末だに思い通りの作品は作れませんが「継続は力なり」です。

高松 佳美 たかまつ よしみ



コツコツ作っていると、心が整います。暮らしの中の小さな工夫が、まちづくりのヒントに。

小林 文江 こばやし ふみえ



日頃は両親の営む畜産業の手伝いをして子牛に癒されています。

古家 茂臣 ふるいえ しげおみ



走って走って走って参ります。

永田 壮拓 ながた たけひろ



のんびり竿を出しながら、自然の中で心を整理する時間を大切にしています。

原 芳郎 はら よしろう



みんなで頑張れる地域創りを！

隈部 賢治 くまべ けんじ



趣味で毎年、年末に門松作りを楽しんでいます。

高橋 龍一 たかはし りゅういち



水泳が得意です。県民体育祭には毎年参加しています。

豊田 新二郎 とよだ しんじろう



学生時代から野球を続けてきましたが、今年から還暦野球チームに加入し、身体に鞭を打ちながら頑張ってます(笑)

山下 誠治 やました せいじ



昭和のフォークソングに癒やされています。

古川 和博 ふるかわ かずひろ



とても大事に育てています・・・やまが和栗

金光 一誠 かなみつ いっせい



生涯野球を楽しみます。

松見 真一 まつみ しんいち



毎朝のウォーキングが一番の楽しみです。

小川 榮二 おがわ えいじ



趣味：囲碁・将棋  
マイブーム：無農薬・無肥料の自然農法による安心安全な自然米づくりに取り組んでいます。

芋生 よしや いもう よしや



日本自然保護協会の講習を受け、「自然観察指導員」になりました。  
～生物多様性の保全をめざして～  
「自然観察からはじまる自然保護」の為に、活動を続けたいです。

勢田 昭一 せいだ しょういち



良く、つまずく。そこで踏み台昇降を始めた。25センチの階段を使い、1日150回効果が抜群！

有働 辰喜 うどう たつき



ガーデニング：洋蘭(シンビジウム)、君子蘭を育てています。どちらの蘭も20年以上育てていますが、ここ2年程植え替え・株分け作業ができずシンビジウムは今年、小さな花しか咲きませんでした。

服部 香代 はっとり かよ



アロマティカスというミントのような香りのする多肉植物を株分けして増やしています。

永田 紘二 ながた こうじ



狩猟【ハンティング】  
私の健康の源！年中、雄大な阿蘇の原野を、愛犬と狩りやトレーニングで駆け巡ること。

## 議会の主な動き

10月

3日(金) 宮古島市市制二十周年記念式典(～4日)  
3日(金) 行政視察受け入れ(千葉県館山市)  
9日(木) 熊本県市議会議長会  
9日(木) 行政視察受け入れ(茨城県結城市議会)  
15日(水) 全員協議会  
21日(火) 行政視察受け入れ(宮崎県小林市議会)  
28日(火) 百歳到達者表敬訪問  
30日(木) 国道3号植木バイパス早期実現期成会要望活動  
30日(木) 森林・林業・林産業活性化九州大会

11月

6日(木) 行政視察受け入れ(岐阜県高山市議会)  
6日(木) 行政視察受け入れ(熊本県合志市議会)  
7日(金) 行政視察受け入れ(長崎県長与町議会)  
10日(月) 国道3号植木バイパス早期実現期成会総会(～11日)  
13日(木) 全員協議会・議会運営委員会  
17日(月) 百歳到達者表敬訪問  
18日(火) 議会運営委員会  
21日(金) 主権者教育(鹿本中学校)  
25日(火) 12月定例会開会・全員協議会  
25日(火) 国道443号期成会総会及び要望会

12月

2日(火) 12月定例会質疑・一般質問  
3日(水) 12月定例会質疑・一般質問・委員会付託  
4日(木) 予算決算委員会  
8日(月) 建設経済委員会  
9日(火) 市民福祉委員会  
10日(水) 総務文教委員会  
12日(金) 予算決算委員会  
16日(火) 議会運営委員会  
16日(火) 百歳到達者表敬訪問  
17日(水) 12月定例会閉会・全員協議会

次回の定例会は2月25日(水)開会の予定です。  
(都合により変更となることがあります。)

2月25日(水)……………開会日  
3月4日(水)・3月5日(木)…予算決算委員会  
3月6日(金)・3月9日(月)…質疑・一般質問  
3月10日(火)……………建設経済委員会  
3月11日(水)……………市民福祉委員会  
3月12日(木)……………総務文教委員会  
3月13日(金)……………予算決算委員会  
3月17日(火)……………議会運営委員会  
3月18日(水)……………閉会日

今回、「やまが市議会だより」も記念すべき50号となりました。市民の皆様へ分かりやすく、より身近な便りにすべく試行錯誤の日々ですが、目指すものになっているのか心配です。編集に携わる5人の新人議員もようやく1年が経ち、少しは新たな環境に慣れてきたところですが、昨年はまさに激動の一年、初めての議会や一般質問、様々な会合や研修会への参加、そして広報紙の作成等どれも新たに勉強することばかりで充実した一年でした。これからは「初心忘るべからず」今後も更なるステップアップを目指し努めて行きますのでよろしくお願いいたします。

また、今年の議会報告会を1月末から2月にかけて市内8カ所で開催いたします。報告会では様々な意見交換ができればと思いますので多くの皆様のご来場をお待ちしております。

広報広聴委員会 北原 和智

## 【人事案件】

※敬称略

### 〈固定資産評価審査委員会委員〉

市長から提出された「固定資産評価審査委員会委員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿北町 野中 弘樹  
山鹿市中 本多 隆文  
山鹿市鹿本町 木村ひさ子

### 〈人権擁護委員〉

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿本町 小川 芳和  
山鹿市志々岐 巢山 弘清

## 議会を check!

12月定例会傍聴席からこんな声をいただきました。  
今回はその中の一部をご紹介します。  
貴重なご意見ありがとうございました。

初めての傍聴でした。思ったより傍聴者が多いと思いました。質問、回答後の検証が大切ではないかと思います。 70代

議場には三面のテレビ画面が設置され、傍聴席の両側でも見やすく、表情も確認できて有難かったです。12月議会では14名の議員が一般質問に立ち、それぞれ異なる切り口やグラフで広範な市政の問題を学べました。 70代

農業と福祉その他の連携は、これからの重要な問題だと思います。まだまだ進んでいません。これからの進展を期待しています。 60代

初めての参加でした。室内もきれいでモニターの字幕に感動しました。それぞれの質問内容もすべてには財源が要のようでした。山鹿は世界に匹敵する観光資源にあふれていると思います。人口減少は待ったなしの状況ですので、官民一体でやっていきたいものです。 40代

子育て世代の方の思いを代弁してくださり、日頃から思っていたことを質問してもらってとても良かったです。また投票する人が増えて頂けるよう考えてほしいです。 60代

## 編集後記